

学校コード F113310102975

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

共立女子大学 ビジネス学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人共立女子学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学企画課教学企画グループ

職名・氏名 シュニン カワクボゲンタ
主任・川久保源太

電話番号 03-3237-2897

(夜間) 03-3237-2897

e-mail kikaku.gr@kyoritsu-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

ビジネス学部

＜ビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人共立女子学園

(2) 大学名

共立女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒101-8437

東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミタライ ヤスシ) 御手洗 康 (現職就任年月 平成29年4月)		
学長	(カワクボ キヨシ) 川久保 清 (現職就任年月 平成30年4月)		
学部長	(ウエダ カズオ) 植田 和男 (現職就任年月 令和2年4月)	(アライ コウキ) 荒井 弘毅 (現職就任年月 令和5年4月)	変更理由：設置時学部長の退職 (日本銀行総裁就任) 変更年月日：令和5年4月1日 (5)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビジネス学部 ビジネス学科 学士（ビジネス）	経済学関係	4年	150人	2年次 若干名 3年次 0人 4年次 0人	600人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	150人 (-) [-]	(-) [-]	150人 (-) [-]	(-) [-]	150人 (-) [-]	(-) [-]	150人 (-) [-]	(-) [-]	1.12倍	1.12倍	1.11倍	-		
志願者数	() []	() []	() []	() []	1292 (-) [-]	(-) [-]	896 (-) [-]	(-) [-]	731 (1) [-]	(-) [-]	704 (-) [-]	(-) [-]						
受験者数	() []	() []	() []	() []	1242 (-) [-]	(-) [-]	848 (-) [-]	(-) [-]	672 (1) [-]	(-) [-]	657 (-) [-]	(-) [-]						
合格者数	() []	() []	() []	() []	374 (-) [-]	(-) [-]	423 (-) [-]	(-) [-]	393 (1) [-]	(-) [-]	375 (-) [-]	(-) [-]						
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	168 (-) [-]	(-) [-]	173 (-) [-]	(-) [-]	174 (1) [-]	(-) [-]	160 (-) [-]	(-) [-]						
入学定員超過率 B/A					1.12		1.15		1.16		1.06							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にして下さい。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	168 [-] (-)	- [-] (-)	173 [-] (-)	- [-] (-)	174 [-] (-)	- [-] (-)	160 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	164 [-] (-)	- [-] (-)	174 [-] (1)	- [-] (-)	174 [-] (1)	- [-] (-)	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	159 [-] (-)	- [-] (-)	178 [-] (6)	- [-] (-)	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	152 [-] (-)	- [-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	168 [-] (-)		337 [-] (-)		507 [-] (1)		664 [-] (7)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	168 人	4 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	4 人	0 人	他の教育期間への転学(2名)、経済的困窮(1名)、 就学意欲の低下(1名)
令和3年度	337 人	5 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	4 人	0 人	他の教育期間への転学(3名)、就学意欲の低下(1名)
			令和3年度	1 人	0 人	心神耗弱(1名)
令和4年度	507 人	4 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和4年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)
令和5年度	664 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		13 人		13 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{168} = \boxed{2.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{337} = \boxed{1.48} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{507} = \boxed{0.78} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{664} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

管理会計Ⅰ	3前	2		1						
管理会計Ⅱ	3後	2		1						
ファイナンス	3前	2		1						
起業と会計	3前	2								1
監査論	3後	2	1							
企業評論論	3後	2								1
リーダーシップ開発応用演習	2後	2	1	2						
ファンリテーション基礎演習A	2前	2								2
ファンリテーション基礎演習B	2後	2								2
チームコーチング基礎演習A	3前	2								2
チームコーチング基礎演習B	3後	2								2
3年ゼミナール	3通	4		12	4	1				
4年ゼミナール	4通	4		12	4	1				
卒業論文	4通	4		12	4	1				
小計(38科目)	—	12	70	0	12	4	3	0	0	4
合計(125科目)	—	74	179	0	12	4	3	0	0	48
卒業要件及び履修方法										
教養教育科目から28単位【必修科目14単位、選択科目14単位】、専門教育科目から96単位【必修科目:60単位(専門基礎科目16単位、専門基幹科目32単位、専門発展科目12単位)、選択科目:36単位】以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限単位数:44単位(年間))										

管理会計Ⅰ	3前	2		1						
管理会計Ⅱ	3後	2		1						
ファイナンス	3前	2		1						
起業と会計	3後	2								1
監査論	3後	2	1							
企業評論論	3後	2								1
リーダーシップ開発応用演習	2後	2		1	1					1
ファンリテーション基礎演習A	2前	2								2
ファンリテーション基礎演習B	2後	2								2
チームコーチング基礎演習A	3前	2								2
チームコーチング基礎演習B	3後	2								2
3年ゼミナール	3通	4		10	5	1				
4年ゼミナール	4通	4		10	5	1				
卒業論文	4通	4		10	5	1				
小計(38科目)	—	12	70	0	10	6	2	0	0	8
合計(151科目)	—	68	207	0	10	6	2	0	0	52
卒業要件及び履修方法										
教養教育科目から28単位【必修科目8単位、選択科目20単位】、専門教育科目から96単位【必修科目:60単位(専門基礎科目16単位、専門基幹科目32単位、専門発展科目12単位)、選択科目:36単位】以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限単位数:44単位(年間))										

【令和4年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 記号年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任・兼担. Rows include 基礎ゼミナール, データサイエンスとICTの基礎, 英語A/B, フランス語I/II, 中国語I/II, ドイツ語I/II, コリア語I/II, スペイン語I/II, イタリア語, アラビア語, 人間を理解するための授業, 社会を理解するための授業, 自然と地理を学ぶ, 健康スポーツ実習A/B, 企業と社会の仕組み, 現代社会の諸課題, 教養総合ワークショップA, ワークショップファシリテーション, ビジネス入門, 経営基礎I, マーケティング基礎I, ミクロ経済学基礎I, 会計基礎I/II, リーダーシップ開発入門演習I.

【令和3年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 記号年次, 単位数, 専任教員等の配置, 兼任・兼担. Rows include 基礎ゼミナール, 情報リテラシー, 英語A/B, フランス語I/II, 中国語I/II, ドイツ語I/II, コリア語I/II, スペイン語I/II, イタリア語, アラビア語, 人間を理解するための授業, 社会を理解するための授業, 自然と地理を学ぶ, 健康スポーツ実習A/B, 企業と社会の仕組み, 現代社会の諸課題, 教養総合ワークショップA, ワークショップファシリテーション, ビジネス入門, 経営基礎I, マーケティング基礎I, ミクロ経済学基礎I, 会計基礎I/II, リーダーシップ開発入門演習I.

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自律と努力のた め自立・自活のた めの基礎科目	基礎ゼミナール	1前	1			3	1	1			
		論理的思考・文章表現	1前	1								
		ライフプランと自己実現	1後	2								
		課題解決ワークショップ	1後	1			4	1				
	小計(4科目)	—	4	1	0	7	2	1	0	0	1	
	創造とキャリア アコ	情報基礎	1前	2								1
		情報処理	1前	2								4
		情報の分析と活用A	1後	2			1					
		情報の分析と活用B	1後	2								1
		小計(4科目)	—	2	6	0	1	0	0	0	0	4
英語		英語A(リスニング・スピーキング)	1通	2								5
	英語B(リーディング・ライティング)	1通	2								5	
	アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現)	2通	2								5	
	アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	2通	2								5	
	アドバンスト英語C(TOEIG)	3通	2								2	
	小計(5科目)	—	8	2	0	0	0	0	0	0	10	
	初習外国語	フランス語Ⅰ(入門)	1前	2								1
フランス語Ⅱ(表現)		1後	2								1	
応用フランス語(総合)		2通	2								1	
中国語Ⅰ(入門)		1前	2								1	
中国語Ⅱ(表現)		1後	2								1	
応用中国語(総合)		2通	2								1	
ドイツ語Ⅰ(入門)		1前	2								1	
ドイツ語Ⅱ(表現)		1後	2								1	
応用ドイツ語(総合)		2通	2								1	
ロシア語Ⅰ(入門)		1通	2								1	
ロシア語Ⅱ(表現)		1通	2								1	
スペイン語Ⅰ(入門)		1通	2								1	
スペイン語Ⅱ(表現)		1通	2								1	
イタリア語		1通	2								1	
アラビア語		1通	2								1	
基礎日本語(留学生対象)		1通	2								1	
応用日本語(留学生対象)		1通	2								1	
小計(17科目)		—	0	34	0	0	0	0	0	0	11	
人間を 理解する ための 教養		日本の歴史を学ぶ	1前・後	2								1
		世界の歴史を学ぶ	1前・後	2								1
	人間と地理を学ぶ	1前・後	2								1	
	文学をひらく	1前・後	2								1	
	芸術をひらく	1前・後	2								1	
	哲学とは何か	1前・後	2								1	
	心理を学ぶ	1前・後	2								1	
	自己開発	1前・後	2								1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	8	
	社会を 理解する ための 教養	法律を学ぶ(日本国憲法)	1前・後	2								1
法律を学ぶ(概論)		1前・後	2			1					1	
政治を学ぶ		1前・後	2								1	
倫理学とは何か		1前・後	2								1	
国際関係を学ぶ		1前・後	2								1	
地域社会と家族を学ぶ		1前・後	2								1	
経済を学ぶ		1前・後	2			1					1	
社会を学ぶ		1前・後	2								1	
小計(8科目)		—	0	16	0	2	0	0	0	0	6	
創造と キャリア アコ	自然と地理を学ぶ	1前・後	2								1	
	数学への招待	1前・後	2								1	
	生物学への招待	1前・後	2								1	
	物理学への招待	1前・後	2								1	
	化学への招待	1前・後	2								1	
	小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	4	
	のす 健康 を体 養を た管 理理 の	健康スポーツ実習A	1前・後	1								1
		健康スポーツ実習B	1前・後	1								1
		小計(2科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	1
		教養 を 育 つ た め の 創	企業と社会の仕組み	2前・後	2			3				
マーケティング			2前・後	2			1		1			1
女性の生き方と社会	2前・後		2								1	
小計(3科目)	—		0	6	0	4	0	1	0	0	1	
協働と リー ダー シ ッ プ コ ア	現代社会の諸課題(経済・産業)	2前・後	2			2					1	
	現代社会の諸課題(環境・科学)	2前・後	2								1	
	現代社会の諸課題(文化・芸術)	2前・後	2								1	
	現代社会の諸課題(生活・地域)	2前・後	2								1	
	現代社会の諸課題(メディア・表現)	2前・後	2								1	
	小計(5科目)	—	0	10	0	2	0	0	0	0	4	
演習 実 践 的 研 究	教養総合ワークショップA	1通	4								1	
	小計(1科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	1	
開 発 シ ッ プ	ワークショップファミリーセッション	2通	2				2				1	
	小計(1科目)	—	0	2	0	0	0	2	0	0	1	

専門 教育 科目	専門 基礎 科目	ビジネス入門	1前	2			10	3														
		経営基礎 I	1後	2			1															
		マーケティング基礎 I	1後	2			1															
		ミクロ経済学基礎 I	1後	2			2															
		会計基礎 I	1前	2			1	1														
		会計基礎 II	1後	2			1	1														
		リーダーシップ開発入門演習 I	1前	2			4		2												2	
		リーダーシップ開発入門演習 II	1後	2			4		2												2	
		小計(9科目)	—	16	0	0	11	3	2	0	0	2										
		専門 教育 科目	専門 基幹 科目	経営基礎 II	2前	2			1													
				経営戦略論 I	2後	2			1													
				経営組織論 I	2後	2			1													
				マーケティング基礎 II	2前	2			1													
				流通論 I	2前	2			1													
				流通論 II	2後	2			1													
				統計学基礎演習 I	2前	2			1													
				統計学基礎演習 II	2後	2			1													
ミクロ経済学基礎 II	2前			2			2															
マクロ経済学基礎 I	2前			2			2															
マクロ経済学基礎 II	2後			2			2															
財務会計 I	2前			2			1															
財務会計 II	2後			2			1															
原価計算 I	2前			2			1															
原価計算 II	2後			2			1															
リーダーシップ開発基礎演習	2前			2			4		2												2	
小計(16科目)	—			32	0	0	9	3	2	0	0	2										
専門 教育 科目	専門 発展 科目	経営戦略論 II	3前	2			1															
		経営組織論 II	3前	2			1															
		中小企業論	3前	2			1															
		現代経営事情	3前	2			1															
		国際経営論	3後	2			1															
		人的資源管理論	3後	2			1															
		コーポレート・ガバナンス	3前	2			1															
		コンプライアンス経営論	3後	2			1															
		ビジネスと法A	3前	2			1															
		ビジネスと法B	3後	2			1															
		消費者行動論	3前	2					1													
		現代マーケティング事情	3前	2			1															
		マーケティング・リサーチ	3後	2			1															
		マーケティング・コミュニケーション	3後	2			1															
		ビジネスとプログラミング	3前	2			1															
		ビッグデータ分析	3後	2			1															
		金融論	3前	2			1															
		国際貿易論	3前	2			1															
		公共経済学A	3前	2			1															
		公共経済学B	3後	2			1															
		国際金融論	3後	2			1															
		現代金融・会計事情	3後	2			1															
		会計演習A	3前・3後	2			1															
		会計演習B	3前・3後	2			1															
		管理会計 I	3前	2			1															
		管理会計 II	3後	2			1															
		ファイナンス	3前	2			1															
		起業と会計	3前	2			1															
		監査論	3後	2			1															
		企業評価論	3後	2			1															
		リーダーシップ開発応用演習	2後	2			1		2													
		フシリテーション基礎演習A	2前	2			2															
		フシリテーション基礎演習B	2後	2			2															
		チームコーチング基礎演習A	3前	2			2															
		チームコーチング基礎演習B	3後	2			2															
		3年ゼミナール	3通	4			12	4	1													
		4年ゼミナール	4通	4			12	4	1													
		卒業論文	4通	4			12	4	1													
小計(38科目)	—	12	70	0	12	4	3	0	0	4												
合計(125科目)		—	74	179	0	12	4	3	0	0	4											
卒業要件及び履修方法																						
教養教育科目から28単位【必修科目14単位、選択科目14単位】、専門教育科目から96単位【必修科目:60単位(専門基礎 科目16単位、専門基幹科目32単位、専門発展科目12単位)、選択科目:36単位】以上を修得し、124単位以上修得する こと。 (履修科目の登録の上限単位数:44単位(年間))																						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページには認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実検、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目名の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

- ・専任教員(教授)退職により、「ビジネス入門」の専任教員の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・専任教員(教授)退職により、「ミクロ経済学基礎Ⅰ」「ミクロ経済学基礎Ⅱ」の配置を「教授2」から「教授1」「兼任1」に変更。

【令和4年度】

- ・専任教員(教授)退職、専任教員(准教授)就任により、「課題解決ワークショップ」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授3」「准教授2」に変更。
- ・数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識・技能が文理問わず全ての学生に不可欠な能力であり、「実学」教育を重視する本学にとって不可欠な基礎教育であるため、授業科目名称および選択必修区分を「情報基礎」(選択)から「データサイエンスとITの基礎」(必修)に変更。
- ・専任教員(准教授)就任により、「情報の分析と活用A」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・専任教員(准教授)就任により、「現代社会の諸課題(経済・産業)」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇格(講師から准教授)により、「ワークショップファシリテーション」の専任教員の配置を「講師2」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・専任教員(教授)退職、専任教員(准教授)就任により、「ビジネス入門」の専任教員の配置を「教授10」「准教授3」から「教授9」「准教授4」に変更。
- ・専任教員(教授)退職、専任教員(准教授)就任により、「ミクロ経済学基礎Ⅰ」「ミクロ経済学基礎Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇格(講師から准教授)により、「リーダーシップ開発入門演習Ⅰ」「リーダーシップ開発入門演習Ⅱ」「リーダーシップ開発基礎演習」の専任教員の配置を「教授4」「講師2」から「教授4」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「マーケティング・リサーチ」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・専任教員(教授)退職、専任教員(准教授)就任により、「公共経済学A」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「起業と会計」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・専任教員の昇格(講師から准教授)により、「リーダーシップ開発応用演習」の専任教員の配置を「教授1」「講師2」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・専任教員(教授)退職、専任教員(准教授)就任により、「3年ゼミナール」「4年ゼミナール」「卒業論文」の専任教員の配置を「教授12」「准教授4」「講師1」から「教授11」「准教授5」「講師1」に変更。

【令和5年度】

- ・教養教育の「英語」科目について、令和5年度に従来のより充実したカリキュラムに再編成を行った。
- ・学生が入学時に実施するプレテストの結果により、自身に合うレベルの科目を履修することができ、レベル別のきめ細かな授業進行により英語力の向上を目指す。
- ・また、「コミュニケーション」と「TOEIC」を重視することで、在学中、更には卒業後に必要な能力を向上させるカリキュラムとなった。
- ・全員が6科目8単位をレベル別に選択して履修することに加え、3年次配当科目を充実させることで、更なる英語力の向上を目指すことが可能となった。
- ・「英語A(リスニング・スピーキング)」については、「英語コミュニケーションⅠ(Basic)」「英語コミュニケーションⅠ(Intermediate)」「英語コミュニケーションⅠ(High-intermediate)」「英語コミュニケーションⅠ(Advanced)」に細分化。
- ・「英語B(ライティング・ライディング)」については、「TOEICⅠ(Basic)」「TOEICⅠ(Intermediate)」「TOEICⅠ(High-intermediate)」「TOEICⅠ(Advanced)」「TOEICⅡ(Basic)」「TOEICⅡ(Intermediate)」「TOEICⅡ(High-intermediate)」「TOEICⅡ(Advanced)」に細分化。
- ・「アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現)及び「アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)」については、「英語コミュニケーションⅢ(Basic)」「英語コミュニケーションⅢ(Intermediate)」「英語コミュニケーションⅢ(High-intermediate)」「英語コミュニケーションⅢ(Advanced)」「英語コミュニケーションⅣ(Basic)」「英語コミュニケーションⅣ(Intermediate)」「英語コミュニケーションⅣ(High-intermediate)」「英語コミュニケーションⅣ(Advanced)」「英語コミュニケーションⅤ(High-intermediate)」「英語コミュニケーションⅤ(Advanced)」「英語コミュニケーションⅥ(High-intermediate)」「英語コミュニケーションⅥ(Advanced)」に細分化。
- ・アドバンスト英語C(TOEIC)については、TOEICⅢ(High-intermediate)、TOEICⅢ(Advanced)に細分化。
- ・自己開発については、従来の内容(異文化交流を主とした海外研修を主としたプログラム)を踏襲した「自己開発A」と、地域連携・産学連携等を主としたプログラム「自己開発B」に細分化。
- ・科目区分の「課題解決実践演習」と「リーダーシップ開発」を「リーダーシップ開発」に統合し、「教養総合ワークショップA」を「教養総合ワークショップ」に名称変更、開講期を半期(後期)として2単位に変更。
- ・専任教員(教授)退職により、「ビジネス入門」「リーダーシップ開発入門演習Ⅰ」「リーダーシップ開発入門演習Ⅱ」「リーダーシップ開発基礎演習」「リーダーシップ開発応用演習」については兼任教員(教授)が後任し、「ビジネス入門」の配置を「教授9」「准教授4」から「教授8」「准教授4」「兼任・兼任1」に、「リーダーシップ開発入門演習Ⅰ」「リーダーシップ開発入門演習Ⅱ」「リーダーシップ開発基礎演習」の配置を「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師1」「兼任・兼任1」に、「リーダーシップ開発応用演習」の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」から「教授1」「講師1」「兼任・兼任1」に、「3年ゼミナール」「4年ゼミナール」「卒業論文」の配置を「教授11」「准教授5」「講師1」から「教授10」「准教授5」「講師1」に変更。
- ・専任教員(教授)退職により、「マクロ経済学基礎Ⅰ」「マクロ経済学基礎Ⅱ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・「現代社会の諸課題(メディア・表現)」は、担当する教員増により、配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学部長の担当変更により「ミクロ経済学基礎Ⅰ」「ミクロ経済学基礎Ⅱ」の配置を「教授1」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼任1」に、「国際貿易論」の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	90 科目	0 科目	125 科目	32 科目 [△3]	119 科目 [29]	0 科目 [0]	151 科目 [26]	全学で共通に実施している教養教育科目に係る変更

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	<共用する他の学校> 共立女子短期大学 (収容定員400名) 法令上の必要面積： 4,000㎡ 共立女子高等学校 (収容定員1,080名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との 共用可) 共立女子第二高等学校 (収容定員720名) 面積基準：運動場として 8,400㎡(中学校との 共用可) 共立女子中学校 (収容定員960名) 面積基準：運動場として 8,400㎡ 共立女子第二中学校 (収容定員480名) 面積基準：運動場として 6,000㎡	
	校 舎 敷 地	39,671.14 ㎡	12,862.50 ㎡	59,752.86 ㎡	112,286.50 ㎡		
	運動場用地	8,000.00 ㎡	3,000.00 ㎡	21,000.00 ㎡	32,000.00 ㎡		
	小 計	47,671.14 ㎡	15,862.50 ㎡	80,752.86 ㎡	144,286.50 ㎡		
	そ の 他	0 ㎡	72,582.93 ㎡	0 ㎡	72,582.93 ㎡		
	合 計	47,671.14 ㎡	88,445.43 ㎡	80,752.86 ㎡	216,869.43 ㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	共立女子短期大学と共用 法令上の必要面積：3,650㎡	
		24,206.53 ㎡ (24,206.53 ㎡)	43,954.38 ㎡ (43,954.38 ㎡)	1,570.00 ㎡ (1,570.00 ㎡)	69,730.91 ㎡ (69,730.91 ㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		75室	49室	29室	11室 (補助職員7人)	3室 (補助職員0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	ビジネス学部 ビジネス学科			19 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	ビジネス学部 ビジネス学科	351,353 [101,519] (351,353 [101,519])	1,784 [390] (1,784 [390])	32 [32] (32 [32])	2,823 (2,823)	31,795 (31,795)	1,714 (1,714)
	計	351,353 [101,519] (351,353 [101,519])	1,784 [390] (1,784 [390])	32 [32] (32 [32])	2,823 (2,823)	31,795 (31,795)	1,714 (1,714)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	6,637㎡		623		463,406		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	959㎡		該当なし				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員1人当り研究費等		350千円	図書購入費	3,415千円	8,039千円	4,000千円
	共同研究費等		21,000千円	設備購入費	76,320千円	957千円	3,498千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,290千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	— 千円	— 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	共立女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
家政学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号						
被服学科	4	345	-	1680	-	1.05	1.05	1.06	1.05	2023	昭和24							
食物栄養学科	4	90	-	360	学士(家政学)	1.08	1.08	1.10	1.10		昭和24	東京都八王子市元八王子一丁目710番地-						
食物学専攻	4	105	-	420	学士(家政学)	1.05	1.05	1.05	1.04		昭和41							
管理栄養士専攻	4	55	-	220	学士(家政学)	1.02	1.02	1.02	1.01		昭和41							
建築・デザイン学科	4	0	-	300	学士(家政学)	1.08	-	1.08	-		昭和41		建築・デザイン学部の設置により令和5年度より募集停止					
児童学科	4	150	-	600	学士(家政学)	1.16	1.16	1.18	1.16	2023	平成19							
文芸学部	4	350	-	1400	-	1.00	-	0.99	-		平成19							
文芸学科	4	350	-	1400	学士(文芸学)	1.03	1.03	1.11	1.08		昭和28							
国際学部	4	250	-	1000	-	1.03	1.03	1.11	1.08		平成19							
国際学科	4	250	-	1000	学士(国際学)	1.05	1.05	1.10	1.07		平成19							
看護学部	4	100	-	400	-	1.05	1.05	1.10	1.07		平成19							
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.05	1.05	1.04	1.03		平成25							
ビジネス学部	4	150	-	600	-	1.05	1.05	1.04	1.03		平成25							
ビジネス学科	4	150	-	600	学士(ビジネス学)	1.05	1.05	1.04	1.03		平成25							
建築・デザイン学部	4	100	-	100	-	1.12	-	1.10	-	2020	令和2							
建築・デザイン学科	4	100	-	100	学士(建築)	1.12	-	1.10	-	2020	令和2							
建築・デザイン学科	4	100	-	100	-	1.08	-	1.08	-	2023	令和5							
建築・デザイン学科	4	100	-	100	学士(建築)	1.08	-	1.08	-	2023	令和5		令和5年度に設置し学年進行中					
大学全体	-	1295	-	5180	-	-	-	-	-	-	-							

大学の名称	共立女子短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
生活科学科	2	100	-	200	短期大学士(生活科学)	0.93	-	0.92	-		平成1	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号						
文科	2	100	-	200	短期大学士(文科)	0.68	-	0.58	-		平成19							
短期大学全体	-	200	-	400	-	-	-	-	-	-	-							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<ビジネス学部 ビジネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 教授(学部長)	植田 和男 (68(高)) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Economics) (米國)	専 教授(学部長)	植田 和男 (68(高)) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Economics) (米國)	専 教授(学部長)	植田 和男 (69(高)) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Economics) (米國)	専 教授(学部長)	植田 和男 (70(高)) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Economics) (米國)
専 教授	高西 和廣 (66(高)) <令和2年4月> 経営学修士※	専 教授	高西 和廣 (66(高)) <令和2年4月> 経営学修士※	専 教授	高西 和廣 (67(高)) <令和2年4月> 経営学修士※	専 教授	高西 和廣 (68(高)) <令和2年4月> 経営学修士※
専 教授	中山 健 (63(高)) <令和2年4月> 博士(学術)	専 教授	中山 健 (63(高)) <令和2年4月> 博士(学術)	専 教授	中山 健 (64(高)) <令和2年4月> 博士(学術)	専 教授	中山 健 (65(高)) <令和2年4月> 博士(学術)
専 教授	井上 晋博 (60) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	井上 晋博 (60) <令和2年4月> 博士(経営学)				
専 教授	櫻本 信 (71(高)) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	櫻本 信 (71(高)) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	櫻本 信 (72(高)) <令和2年4月> 博士(経営学)		
専 教授	小川 宏幸 (49) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	小川 宏幸 (49) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	小川 宏幸 (50) <令和2年4月> 博士(経営学)	専 教授	小川 宏幸 (51) <令和2年4月> 博士(経営学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	金子 敬太 (38) <令和2年4月> 博士(情報学)	ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	金子 敬太 (39) <令和2年4月> 博士(情報学)	ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	金子 敬太 (40) <令和2年4月> 博士(情報学)	ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	金子 敬太 (41) <令和2年4月> 博士(情報学)	ビジネス入門 ※ 統計学基礎演習Ⅰ 統計学基礎演習Ⅱ ビジネスとプログラミング ビッグデータ分析 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	福澤 恵二 (49) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	福澤 恵二 (50) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	福澤 恵二 (51) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	福澤 恵二 (52) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	課題解決ワークショップ ビジネス入門 ※ 会計基礎Ⅰ 会計基礎Ⅱ 現代金融・会計事情 会計演習A ファイナンス 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	准教授	小泉 友香 (42) <令和2年4月> 修士(経営学)	ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	小泉 友香 (43) <令和2年4月> 修士(経営学)	ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	小泉 友香 (44) <令和2年4月> 修士(経営学)	ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	小泉 友香 (45) <令和2年4月> 修士(経営学)	ビジネス入門 ※ 原簿計算Ⅰ 原簿計算Ⅱ 会計演習B 管理会計Ⅰ 管理会計Ⅱ 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
								専	准教授	張 栄章 (41) <令和4年4月> 博士(農学)	課題解決ワークショップ 情報の分析と活用A 現代社会の課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 公共経済学A 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	准教授	張 栄章 (42) <令和4年4月> 博士(農学)	課題解決ワークショップ 情報の分析と活用A 現代社会の課題(経済・産業) ビジネス入門 ※ ミクロ経済学基礎Ⅰ ミクロ経済学基礎Ⅱ 公共経済学A 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	飯島 聡太郎 (36) <令和2年4月> 博士(商学)	基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	講師	飯島 聡太郎 (36) <令和2年4月> 博士(商学)	基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	講師	飯島 聡太郎 (37) <令和2年4月> 博士(商学)	基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文	専	講師	飯島 聡太郎 (38) <令和2年4月> 博士(商学)	基礎ゼミナール マーケティング 消費者行動論 3年ゼミナール 4年ゼミナール 卒業論文
専	講師	岩城 奈津 (56) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	講師	岩城 奈津 (56) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	講師	岩城 奈津 (57) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	准教授	岩城 奈津 (58) <令和2年4月> Master of Business Administration (米園)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
専	講師	森 理幸子 (56) <令和2年4月> 修士(初級学位)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	講師	森 理幸子 (57) <令和2年4月> 修士(初級学位)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	講師	森 理幸子 (58) <令和2年4月> 修士(初級学位)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習	専	講師	森 理幸子 (59) <令和2年4月> 修士(初級学位)	ワークショップファシリテーション リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習
兼任	教授	村上 昌弘 (66) <令和2年4月> 農学博士	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	教授	村上 昌弘 (66) <令和2年4月> 農学博士	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	教授	村上 昌弘 (67) <令和2年4月> 農学博士	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	教授	村上 昌弘 (68) <令和2年4月> 農学博士	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 ファシリテーション基礎演習A ファシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
兼任	山本 隆 (66) <令和2年4月> 倫理学修士※	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 フシリテーション基礎演習A フシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	山本 隆 (66) <令和2年4月> 倫理学修士※	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 フシリテーション基礎演習A フシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	山本 隆 (68) <令和2年4月> 倫理学修士※	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 フシリテーション基礎演習A フシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B	兼任	山本 隆 (68) <令和2年4月> 倫理学修士※	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ リーダーシップ開発入門演習Ⅱ リーダーシップ開発基礎演習 フシリテーション基礎演習A フシリテーション基礎演習B チームコーチング基礎演習A チームコーチング基礎演習B
兼任	山本 隆 (63) <令和2年4月> 農学博士	化学への招待	兼任	山本 隆 (63) <令和2年4月> 農学博士	化学への招待	兼任	山本 隆 (64) <令和2年4月> 農学博士	化学への招待	兼任	山本 隆 (66) <令和2年4月> 農学博士	化学への招待
兼任	山本 隆 (61) <令和2年4月> 博士(農学)	生物学への招待	兼任	山本 隆 (61) <令和2年4月> 博士(農学)	生物学への招待	兼任	山本 隆 (63) <令和2年4月> 博士(農学)	生物学への招待	兼任	山本 隆 (64) <令和2年4月> 博士(農学)	生物学への招待
兼任	清水 明子 (62) <令和2年4月> Master of Arts※(米)	英語B(リーディング・ライティング) アドバンスト英語(TOEIC)	兼任	清水 明子 (62) <令和2年4月> Master of Arts※(米)	英語B(リーディング・ライティング) アドバンスト英語(TOEIC)	兼任	清水 明子 (64) <令和2年4月> Master of Arts※(米)	英語B(リーディング・ライティング) アドバンスト英語(TOEIC)	兼任	清水 明子 (65) <令和2年4月> Master of Arts※(米)	TOEIC I (High-Intermediate) TOEIC I (Advanced) TOEIC II (Basic) TOEIC II (Intermediate) TOEIC II (High-Intermediate) TOEIC II (Advanced)
兼任	福田 一郎 (41) <令和2年4月> 学士(造形)	数学への招待 物理学への招待	兼任	福田 一郎 (41) <令和2年4月> 学士(造形)	数学への招待 物理学への招待	兼任	福田 一郎 (42) <令和2年4月> 学士(造形)	数学への招待 物理学への招待	兼任	福田 一郎 (43) <令和2年4月> 学士(造形)	数学への招待 物理学への招待
兼任	堀 啓二 (63) <令和2年4月> 芸術学修士	教養総合ワークショップA	兼任	堀 啓二 (63) <令和2年4月> 芸術学修士	教養総合ワークショップA	兼任	堀 啓二 (64) <令和2年4月> 芸術学修士	教養総合ワークショップA	兼任	堀 啓二 (65) <令和2年4月> 芸術学修士	教養総合ワークショップA
兼任	深津 謙一郎 (53) <令和2年4月> 修士(文学)※	論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文字をひらく	兼任	深津 謙一郎 (53) <令和2年4月> 修士(文学)※	論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文字をひらく	兼任	深津 謙一郎 (54) <令和2年4月> 修士(文学)※	論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文字をひらく	兼任	深津 謙一郎 (55) <令和2年4月> 修士(文学)※	論理的思考・文章表現 ライフプランと自己実現 文字をひらく
兼任	中本 恭平 (58) <令和2年4月> MA in Lexicography with distinction(英国)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	中本 恭平 (58) <令和2年4月> MA in Lexicography with distinction(英国)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	中本 恭平 (59) <令和2年4月> MA in Lexicography with distinction(英国)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	中本 恭平 (60) <令和2年4月> MA in Lexicography with distinction(英国)	TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC II (Basic) TOEIC II (High-Intermediate) TOEIC II (Advanced)
兼任	クリス・ホスキンス (61) <令和2年4月> 外国語教育学修士	英語A(リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	兼任	クリス・ホスキンス (61) <令和2年4月> 外国語教育学修士	英語A(リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	兼任	クリス・ホスキンス (62) <令和2年4月> 外国語教育学修士	英語A(リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)	兼任	クリス・ホスキンス (63) <令和2年4月> 外国語教育学修士	英語A(リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	田口 亜紀 (50) <令和2年4月> Doctorat es lettres(仏国)	フランス語Ⅰ(入門) 応用フランス語(総合)	兼任	教授	田口 亜紀 (51) <令和2年4月> Doctorat es lettres(仏国)	フランス語Ⅰ(入門) 応用フランス語(総合)	兼任	教授	田口 亜紀 (52) <令和2年4月> Doctorat es lettres(仏国)	フランス語Ⅰ(入門) 応用フランス語(総合)	兼任	教授	田口 亜紀 (53) <令和2年4月> Doctorat es lettres(仏国)	フランス語Ⅰ(入門) 応用フランス語(総合)
兼任	教授	村井 華代 (51) <令和3年4月> 修士(文学)	現代社会の諸課題(文化・芸術)	兼任	教授	村井 華代 (51) <令和3年4月> 修士(文学)	現代社会の諸課題(文化・芸術)	兼任	教授	村井 華代 (53) <令和3年4月> 修士(文学)	現代社会の諸課題(文化・芸術)	兼任	教授	村井 華代 (54) <令和3年4月> 修士(文学)	現代社会の諸課題(文化・芸術)
兼任	教授	園分 建志 (54) <令和2年4月> 文学修士	中国語Ⅱ(表現)	兼任	教授	園分 建志 (54) <令和2年4月> 文学修士	中国語Ⅱ(表現) 応用中国語(総合)	兼任	教授	園分 建志 (55) <令和2年4月> 文学修士	中国語Ⅱ(表現) 応用中国語(総合)	兼任	教授	園分 建志 (56) <令和2年4月> 文学修士	中国語Ⅱ(表現) 応用中国語(総合)
兼任	教授	曹 元春 (55) <令和3年4月> 文学博士	応用中国語(総合)												
兼任	教授	堀 新 (58) <令和2年4月> 博士(文学)	日本の歴史を学ぶ	兼任	教授	堀 新 (58) <令和2年4月> 博士(文学)	日本の歴史を学ぶ	兼任	教授	堀 新 (59) <令和2年4月> 博士(文学)	日本の歴史を学ぶ	兼任	教授	堀 新 (60) <令和2年4月> 博士(文学)	日本の歴史を学ぶ
兼任	教授	北村 弥生 (57) <令和2年4月> 法学修士	情報処理 現代社会の諸課題(メディア・表現)	兼任	教授	北村 弥生 (57) <令和2年4月> 法学修士	情報処理 現代社会の諸課題(メディア・表現)	兼任	教授	北村 弥生 (58) <令和2年4月> 法学修士	情報処理 現代社会の諸課題(メディア・表現)	兼任	教授	北村 弥生 (59) <令和2年4月> 法学修士	情報処理 現代社会の諸課題(メディア・表現)
兼任	教授	福田 收 (62) <令和2年4月> 文学修士※	情報基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か	兼任	教授	福田 收 (62) <令和2年4月> 文学修士※	情報基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か	兼任	教授	福田 收 (63) <令和2年4月> 文学修士※	情報基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か	兼任	教授	福田 收 (64) <令和2年4月> 文学修士※	データサイエンスとIoTの基礎 情報処理 哲学とは何か 倫理学とは何か
兼任	教授	藤田 岳久 (53) <令和2年4月> 学術修士	情報処理 情報の分析と活用B	兼任	教授	藤田 岳久 (54) <令和2年4月> 学術修士	情報処理 情報の分析と活用B	兼任	教授	藤田 岳久 (55) <令和2年4月> 学術修士	情報処理 情報の分析と活用B	兼任	教授	藤田 岳久 (56) <令和2年4月> 学術修士	情報処理 情報の分析と活用B
兼任	教授	佐藤 雄一 (55) <令和2年4月> 文学修士	基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)	兼任	教授	佐藤 雄一 (55) <令和2年4月> 文学修士	基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)	兼任	教授	佐藤 雄一 (56) <令和2年4月> 文学修士	基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)	兼任	教授	佐藤 雄一 (57) <令和2年4月> 文学修士	基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)
兼任	教授	阿部 圭子 (64) <令和2年4月> 博士(文学)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	教授	阿部 圭子 (64) <令和2年4月> 博士(文学)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	教授	阿部 圭子 (65) <令和2年4月> 博士(文学)	英語B(リーディング・ライティング)	兼任	教授	阿部 圭子 (66) <令和2年4月> 博士(文学)	TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC I (High-Intermediate) TOEIC I (Advanced) TOEIC I (High-Intermediate) TOEIC II (Advanced)
兼任	教授	石井 久生 (55) <令和2年4月> 博士(理学)	人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ	兼任	教授	石井 久生 (55) <令和2年4月> 博士(理学)	人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ	兼任	教授	石井 久生 (57) <令和2年4月> 博士(理学)	人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ	兼任	教授	石井 久生 (58) <令和2年4月> 博士(理学)	人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ
兼任	教授	立松 美也子 (56) <令和2年4月> 法学修士※	法律を学ぶ(日本国憲法)	兼任	教授	立松 美也子 (56) <令和2年4月> 法学修士※	法律を学ぶ(日本国憲法)	兼任	教授	立松 美也子 (57) <令和2年4月> 法学修士※	法律を学ぶ(日本国憲法)	兼任	教授	立松 美也子 (58) <令和2年4月> 法学修士※	法律を学ぶ(日本国憲法)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	カノ 洋子 辻山 洋子 (59) <令和2年4月> 文学修士	社会を学ぶ	兼任	教授	カノ 洋子 辻山 洋子 (59) <令和2年4月> 文学修士	社会を学ぶ	兼任	教授	カノ 洋子 辻山 洋子 (61) <令和2年4月> 文学修士	社会を学ぶ	兼任	教授	カノ 洋子 辻山 洋子 (62) <令和2年4月> 文学修士	社会を学ぶ
兼任	教授	マサキ コウジ 寺地 功次 (62) <令和2年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米園)	国際関係を学ぶ	兼任	教授	マサキ コウジ 寺地 功次 (62) <令和2年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米園)	国際関係を学ぶ	兼任	教授	マサキ コウジ 寺地 功次 (64) <令和2年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米園)	国際関係を学ぶ	兼任	教授	マサキ コウジ 寺地 功次 (65) <令和2年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米園)	国際関係を学ぶ
兼任	教授	ノボリ トシ 橋川 俊樹 (62) <令和2年4月> 文学修士※	自己開発	兼任	教授	ノボリ トシ 橋川 俊樹 (62) <令和2年4月> 文学修士※	自己開発	兼任	教授	ノボリ トシ 橋川 俊樹 (64) <令和2年4月> 文学修士※	自己開発	兼任	教授	ノボリ トシ 橋川 俊樹 (65) <令和2年4月> 文学修士※	自己開発 自己開発B
兼任	教授	オノノ トシ 細野 豊樹 (59) <令和3年4月> 公共政策学修士 法学修士	現代社会の諸課題 (環境・科学)	兼任	教授	オノノ トシ 細野 豊樹 (59) <令和3年4月> 公共政策学修士 法学修士	現代社会の諸課題 (環境・科学)	兼任	教授	オノノ トシ 細野 豊樹 (61) <令和3年4月> 公共政策学修士 法学修士	現代社会の諸課題 (環境・科学)	兼任	教授	オノノ トシ 細野 豊樹 (62) <令和3年4月> 公共政策学修士 法学修士	現代社会の諸課題 (環境・科学)
兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク (50) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク (50) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク (51) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	クレイグ・ウィリアム・マーク (52) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現) 英語コミュニケーションI (Basic) 英語コミュニケーションI (Intermediate) 英語コミュニケーションI (High-Intermediate) 英語コミュニケーションI (Advanced) 英語コミュニケーションII (Basic) 英語コミュニケーションII (Intermediate) 英語コミュニケーションII (High-Intermediate) 英語コミュニケーションII (Advanced) 英語コミュニケーションIII (Basic) 英語コミュニケーションIII (Intermediate) 英語コミュニケーションIII (Advanced)
兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ (62) <令和2年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ (62) <令和2年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ (63) <令和2年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)	兼任	教授	アンソニー・ヒュー・ミルズ (64) <令和2年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現) 英語コミュニケーションI (Basic) 英語コミュニケーションI (Intermediate) 英語コミュニケーションI (High-Intermediate) 英語コミュニケーションI (Advanced) 英語コミュニケーションII (Basic) 英語コミュニケーションII (Intermediate) 英語コミュニケーションII (High-Intermediate) 英語コミュニケーションII (Advanced) 英語コミュニケーションIII (Basic) 英語コミュニケーションIII (Intermediate) 英語コミュニケーションIII (Advanced)
兼任	教授	ヤブチ ヒロト 八十田 博人 (54) <令和2年4月> 修士(学術)※	政治を学ぶ	兼任	教授	ヤブチ ヒロト 八十田 博人 (54) <令和2年4月> 修士(学術)※	政治を学ぶ	兼任	教授	ヤブチ ヒロト 八十田 博人 (55) <令和2年4月> 修士(学術)※	政治を学ぶ	兼任	教授	ヤブチ ヒロト 八十田 博人 (57) <令和2年4月> 修士(学術)※	政治を学ぶ
兼任	教授	リ ヲササキ 李 錚強 (61) <令和2年4月> 法学修士(中国)	中国語I (入門)	兼任	教授	リ ヲササキ 李 錚強 (61) <令和2年4月> 法学修士(中国)	中国語I (入門)	兼任	教授	リ ヲササキ 李 錚強 (62) <令和2年4月> 法学修士(中国)	中国語I (入門)	兼任	教授	リ ヲササキ 李 錚強 (64) <令和2年4月> 法学修士(中国)	中国語I (入門)
兼任	教授	タケチ リ 田口 理恵 (49) <令和2年4月> 博士(保健学)	地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)	兼任	教授	タケチ リ 田口 理恵 (49) <令和2年4月> 博士(保健学)	地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)	兼任	教授	タケチ リ 田口 理恵 (50) <令和2年4月> 博士(保健学)	地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)	兼任	教授	タケチ リ 田口 理恵 (52) <令和2年4月> 博士(保健学)	地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題 (生活・地域)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	滝沢 明子 (42) <令和2年4月> Doctorat Histoire et sémiologie du texte et de l'image (仏国)	フランス語Ⅱ (表現) 女性の生き方と社会								
				兼任	准教授	関見 さえ (46) <令和2年4月> 博士(文学)	フランス語Ⅱ (表現) 女性の生き方と社会				
				兼任	准教授	福嶋 伸洋 (41) <令和2年4月> 博士(学術)	芸術をひらく				
				兼任	准教授	大島 十二愛 (42) <令和2年4月> 修士(新聞学)	情報処理				
				兼任	准教授	西村 めぐみ (43) <令和4年4月> 博士(経済学)	コンプライアンス経営論 起業と会計 企業評価論				
				兼任	准教授	リリアン・スウェイン (68) <令和2年4月> MA-TEFL (米国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	講師	サラ・リネー・アサダ (37) <令和2年4月> 博士(学術)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	講師	野村 秀一 (36) <令和2年4月> 修士(歴史学)	世界の歴史を学ぶ				
				兼任	教授	藤田 雅夫 (64) <令和4年4月> 商学士	消費者行動論				
				兼任	講師	一前 春子 (49) <令和2年4月> 博士(教育学)	心理を学ぶ				
				兼任	准教授	関見 さえ (47) <令和2年4月> 博士(文学)	フランス語Ⅱ (表現) 女性の生き方と社会				
				兼任	准教授	福嶋 伸洋 (42) <令和2年4月> 博士(学術)	芸術をひらく				
				兼任	准教授	大島 十二愛 (43) <令和2年4月> 修士(新聞学)	情報処理				
				兼任	准教授	西村 めぐみ (44) <令和4年4月> 博士(経済学)	コンプライアンス経営論 起業と会計 企業評価論				
				兼任	准教授	リリアン・スウェイン (69) <令和2年4月> MA-TEFL (米国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	准教授	サラ・リネー・アサダ (38) <令和2年4月> 博士(学術)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	准教授	サラ・リネー・アサダ (39) <令和2年4月> 博士(学術)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	教授	藤田 雅夫 (65) <令和4年4月> 商学士	消費者行動論				
				兼任	講師	一前 春子 (50) <令和2年4月> 博士(教育学)	心理を学ぶ				
				兼任	准教授	関見 さえ (48) <令和2年4月> 博士(文学)	フランス語Ⅱ (表現) 女性の生き方と社会				
				兼任	准教授	福嶋 伸洋 (43) <令和2年4月> 博士(学術)	芸術をひらく				
				兼任	准教授	大島 十二愛 (45) <令和2年4月> 修士(新聞学)	情報処理				
				兼任	准教授	西村 めぐみ (45) <令和2年4月> 博士(経済学)	コンプライアンス経営論 起業と会計 企業評価論				
				兼任	准教授	リリアン・スウェイン (68) <令和2年4月> MA-TEFL (米国)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	講師	サラ・リネー・アサダ (40) <令和2年4月> 博士(学術)	英語A (リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A (ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B (ビジネス文章表現)				
				兼任	教授	藤田 雅夫 (67) <令和4年4月> 商学士	消費者行動論 現代社会の課題 (メディア・表現) ビジネス入門 ※ リーダーシップ開発入門演習 I リーダーシップ開発基礎演習 リーダーシップ開発応用演習				
				兼任	講師	一前 春子 (52) <令和2年4月> 博士(教育学)	心理を学ぶ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西村 厚子 (50) <令和2年4月> 文学修士、教育学修士	英語B (リーディング・ライティング)	兼任	講師	西村 厚子 (50) <令和2年4月> 文学修士、教育学修士	英語B (リーディング・ライティング)	兼任	講師	西村 厚子 (52) <令和2年4月> 文学修士、教育学修士	英語B (リーディング・ライティング)	兼任	講師	西村 厚子 (53) <令和2年4月> 文学修士、教育学修士	TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC I (High-Intermediate) TOEIC I (Advanced) TOEIC I (Basic) TOEIC II (Intermediate)
兼任	講師	中島 早苗 (42) <令和2年4月> 博士(体育科学)	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B	兼任	講師	中島 早苗 (42) <令和2年4月> 博士(体育科学)	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B	兼任	講師	中島 早苗 (44) <令和2年4月> 博士(体育科学)	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B	兼任	講師	中島 早苗 (45) <令和2年4月> 博士(体育科学)	健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B
兼任	講師	鶴田 達成 (50) <令和2年4月> 統語論修士	英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)	兼任	講師	鶴田 達成 (50) <令和2年4月> 統語論修士	英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)	兼任	講師	鶴田 達成 (52) <令和2年4月> 統語論修士	英語B (リーディング・ライティング) アドバンスト英語C (TOEIC)	兼任	講師	鶴田 達成 (53) <令和2年4月> 統語論修士	TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC I (High-Intermediate) TOEIC I (Advanced) TOEIC I (Basic) TOEIC II (Intermediate) TOEIC II (High-Intermediate) TOEIC II (Advanced)
兼任	講師	石井 寿子 (60) <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)	兼任	講師	石井 寿子 (60) <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)	兼任	講師	石井 寿子 (61) <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)	兼任	講師	石井 寿子 (62) <令和2年4月> 文学修士	ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語 (総合)
兼任	講師	金 愛慶 (61) <令和2年4月> 修士(文学)	コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)	兼任	講師	金 愛慶 (61) <令和2年4月> 修士(文学)	コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)	兼任	講師	金 愛慶 (62) <令和2年4月> 修士(文学)	コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)	兼任	講師	金 愛慶 (63) <令和2年4月> 修士(文学)	コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)
兼任	講師	長谷川 奏 (61) <令和2年4月> 文学博士	アラビア語	兼任	講師	長谷川 奏 (61) <令和2年4月> 文学博士	アラビア語	兼任	講師	長谷川 奏 (62) <令和2年4月> 文学博士	アラビア語	兼任	講師	長谷川 奏 (63) <令和2年4月> 文学博士	アラビア語
兼任	講師	長野 徹 (57) <令和2年4月> 博士(文学)	イタリア語	兼任	講師	長野 徹 (57) <令和2年4月> 博士(文学)	イタリア語	兼任	講師	長野 徹 (57) <令和2年4月> 博士(文学)	イタリア語	兼任	講師	長野 徹 (58) <令和2年4月> 博士(文学)	イタリア語
兼任	講師	福田 大治 (53) <令和2年4月> 修士(地域研究)	スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)	兼任	講師	福田 大治 (53) <令和2年4月> 修士(地域研究)	スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)	兼任	講師	福田 大治 (54) <令和2年4月> 修士(地域研究)	スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)	兼任	講師	福田 大治 (55) <令和2年4月> 修士(地域研究)	スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)
				兼任	講師	清水 肇 (38) <令和2年4月> Master Soleno societes, Histoire (仏語)	世界の歴史を学ぶ	兼任	講師	清水 肇 (38) <令和2年4月> Master Soleno societes, Histoire (仏語)	世界の歴史を学ぶ	兼任	講師	清水 肇 (40) <令和2年4月> Master Soleno societes, Histoire (仏語)	世界の歴史を学ぶ
								兼任	講師	鎌田 考貴 (48) <令和3年4月> 博士(社会経済)	ミクロ経済学基礎 I ミクロ経済学基礎 II				
												兼任	講師	西岡 隆 (67) <令和4年9月> 国際会計修士(専門職)	コンプライアンス経営論
												兼任	講師	福本 大悟 (42) <令和4年9月> 経営管理修士(専門職)	起業と会計

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名									

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**履修届又は届出届から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専任職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不案内年度(令和4年度開放であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・井上善博教授の就任辞退により、榎本悟教授に変更（令和2年2月教員審査済）。
- ・曹元春兼担教授の就任辞退により、國分建志兼担教授の担当授業科目追加（応用中国語（総合））。
- ・滝沢明子兼担教授の就任辞退により、岡見さえ兼担教授に変更（フランス語Ⅱ（表現）、女性の生き方と社会）。
- ・髙瀬秀一兼担講師の就任辞退により、清水領兼任講師に変更（世界の歴史を学ぶ）。

【令和3年度】

- ・山崎福壽教授の退職により、荒井弘毅教授に変更（ビジネス入門担当1回分、令和3年2月教員審査済）。
- ・山崎福壽教授の退職により、鶴田芳貴兼任講師に変更（ミクロ経済学基礎Ⅰ、ミクロ経済学基礎Ⅱ）。
- ・山崎福壽教授の後任は未定であるが、令和4年4月から専任教員採用予定として公募中で、AC教員審査を受審予定。（金融論、公共経済学A、3年ゼミナール、4年ゼミナール、卒業論文）
- ・サラ・リネー・アサダ兼担講師の職位を兼任准教授に変更。

【令和4年度】

- ・榎本悟教授の退職により、大木裕子教授に変更（令和4年2月教員審査済、令和4年4月就任）（課題解決ワークショップ、企業と社会の仕組み、ビジネス入門、リーダーシップ開発入門演習Ⅰ、リーダーシップ開発入門演習Ⅱ、経営基礎Ⅱ、リーダーシップ開発基礎演習、国際経営論、3年ゼミナール、4年ゼミナール、卒業論文）。
- ・山崎福壽教授の退職（令和3年度報告済）により、南波浩史教授に変更（金融論）（令和3年11月教員審査済）。
- ・山崎福壽教授の退職（令和3年度報告済）により、張采瑜准教授に変更（課題解決ワークショップ、ビジネス入門、ミクロ経済学基礎Ⅰ、ミクロ経済学基礎Ⅱ、公共経済学A、3年ゼミナール、4年ゼミナール、卒業論文）（令和3年11月教員審査済、令和4年4月就任）。
- ・張采瑜准教授の就任（課題解決ワークショップ、情報の分析と活用A、現代社会の諸課題（経済・産業）、ビジネス入門、ミクロ経済学基礎Ⅰ、ミクロ経済学基礎Ⅱ、公共経済学A、3年ゼミナール、4年ゼミナール、卒業論文）（令和3年11月教員審査済、令和4年4月就任）。
- ・岩城奈津専任講師の職位を専任准教授に変更（令和4年2月教員審査済）。
- ・福田収兼担教授、「情報基礎」を令和4年度より「データサイエンスとICTの基礎」に授業科目名の変更。
- ・西村めぐみ兼担教授の退職により、西岡隆兼任講師に変更（コンプライアンス経営論）。
- ・西村めぐみ兼担教授の退職により、福本大悟兼任講師に変更（起業と会計）。
- ・西村めぐみ兼担教授の退職により、海老原論兼任講師に変更（企業評価論）。
- ・リリアン・スウェイン兼担教授の退職により、ロバート・エディック兼任講師に変更（英語A（リスニング・スピーキング）、アドバンスト英語A（ビジネス口頭表現）、アドバンスト英語B（ビジネス文章表現））。
- ・鶴田芳貴兼任講師、退職により削除。（ミクロ経済学基礎Ⅰ、ミクロ経済学基礎Ⅱは、山崎福壽教授の退職により、令和3年度に鶴田芳貴兼任講師に変更（令和3年度報告済）。令和4年度より張采瑜准教授（令和3年11月教員審査済、令和4年4月就任）に変更。）

【令和5年度】

- ・榎田和男教授の退職により、学部長を荒井弘毅教授に変更。
- ・榎田和男教授の退職により、藤田雅夫兼担教授に変更（ビジネス入門、リーダーシップ開発入門演習Ⅰ、リーダーシップ開発入門演習Ⅱ、リーダーシップ開発基礎演習、リーダーシップ開発応用演習）。
- ・学部長変更に伴い、荒井弘毅教授の担当科目を竹田憲史兼任講師に変更（国際貿易論）
- ・学部長変更に伴い、森本恵美兼任講師を追加（ミクロ経済学基礎Ⅰ）
- ・学部長変更に伴い、南英明兼任講師を追加（ミクロ経済学基礎Ⅱ）
- ・アンソニー・ヒューミルズ兼担教授の職位を兼任講師に変更。カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Basic）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、清水明子兼担教授の担当科目変更（TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced）、TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（High-intermediate）、TOEICⅡ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、中本恭平兼担教授の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（High-intermediate）、TOEICⅡ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、クリス・ホスキンス兼担教授の担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Basic）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、阿部圭子兼担教授の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced）、TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、クレイグ・ウィリアム・マーク兼担教授の担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Basic）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、サラ・リネー・アサダ兼担教授の担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Basic）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（Advanced）、英語コミュニケーションⅣ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅣ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、西村厚子兼任講師の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced）、TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、鶴田達成兼任講師の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced）、TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、ロバート・エディック兼任講師の担当科目変更（英語コミュニケーションⅢ（Basic）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（Advanced）、英語コミュニケーションⅣ（Basic）、英語コミュニケーションⅣ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅣ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅣ（Advanced）、英語コミュニケーションⅤ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅤ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（科目の細分化、名称変更）により、橋川俊樹兼担教授の担当科目変更（自己開発A、自己開発B）

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **設けで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	7
14	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
12	4	3	0	19	2	10	6	2	0	18	3
(12)	(4)	(3)	(0)	(19)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
10	6	2	0	18	3	10	6	2	0	18	3
[Δ2]	[2]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[1]	[Δ2]	[2]	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{19} = \boxed{94.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{3}{2} = \boxed{150} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	井上 善博	R1.9	必修	課題解決ワークショップ	①	R1.9病気加療のため就任辞退（2）						
				選択	企業と社会の仕組み	①							
				必修	ビジネス入門	①							
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	①							
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	①							
				必修	経営基礎Ⅱ	①							
				必修	リーダーシップ開発基礎演習	①							
				選択	国際経営論	①							
				必修	3年ゼミナール	①							
				必修	4年ゼミナール	①							
			必修	卒業論文	①								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	山崎 福壽	R3.1	必修	課題解決ワークショップ	①	R3.1.11付け一身上の都合による退職（3）
				必修	ビジネス入門	①	
				必修	ミクロ経済学基礎Ⅰ	①	
				必修	ミクロ経済学基礎Ⅱ	①	
				選択	金融論	①	
				選択	公共経済学A	①	
				必修	3年ゼミナール	①	
				必修	4年ゼミナール	①	
				必修	卒業論文	①	
2	教授	榎本 悟	R4.3	必修	課題解決ワークショップ	①	R4.3.31付け一身上の都合による退職（4）
				選択	企業と社会の仕組み	①	
				必修	ビジネス入門	①	
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	①	
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	①	
				必修	経営基礎Ⅱ	①	
				必修	リーダーシップ開発基礎演習	①	
				選択	国際経営論	①	
				必修	3年ゼミナール	①	
				必修	4年ゼミナール	①	
			必修	卒業論文	①		

3	教授	植田 和男	R5.4	必修	ビジネス入門	②	R5.4.8付け一身上の都合による退職(5)		
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅰ	②			
				必修	リーダーシップ開発入門演習Ⅱ	②			
				必修	マクロ経済学基礎Ⅰ	①			
				必修	マクロ経済学基礎Ⅱ	①			
				必修	リーダーシップ開発基礎演習	②			
				選択	リーダーシップ開発応用演習	②			
				必修	3年ゼミナール	①			
				必修	4年ゼミナール	①			
				必修	卒業論文	①			
合計(F)			後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3	人	必修	25 科目	必修	21 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	4 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	30 科目	計	25 科目	計	5 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
4	人	必修	34 科目	必修	30 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	7 科目	選択	6 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	41 科目	計	36 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D)+(F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・ 井上善博教授の就任辞退に対しては、榎本悟教授がAC教員審査を受審し、井上善博教授が担当予定であった授業科目全てにおいて「可」の判定を受けており、授業の実施に支障はない。</p> <p>学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p> <p>(2)</p> <p>・ 令和2年度途中で退職した山崎福壽教授の担当科目（「課題解決ワークショップ」「ビジネス入門」「マイクロ経済学基礎Ⅰ」）は、教育上の引継ぎを行い、AC教員審査等の所要の手続きを経た他の専任教員で対応しており、支障ない。学生に対しては、ネットワークシステムでの通知および授業内で周知している。</p> <p>・ 退職した山崎福壽教授が担当予定であった令和3年度の開講科目（「マイクロ経済学基礎Ⅱ」）は、AC教員審査等の所要の手続きを経た他の専任教員または兼任教員で対応しており、支障はない。学生に対しては、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p> <p>・ 後任未定となっている山崎福壽教授が担当予定であった令和4年度以降開講科目（「金融論」「公共経済学A」「3年ゼミナール」「4年ゼミナール」「卒業論文」）については、令和4年4月から専任教員採用予定として公募中で、AC教員審査を受審予定。</p> <p>(3)</p> <p>・ 令和3年度末に退職した榎本悟教授の担当授業科目は、大木裕子教授がAC教員審査を受審し、担当授業科目全てにおいて「可」の判定を受けており、授業の実施に支障はない。</p> <p>学生に対しては、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p> <p>・ 令和2年度途中で退職した山崎福壽教授の担当授業科目は、南波浩史教授および、張采瑜准教授がAC教員審査を受審し、令和3年度の報告時に後任が未定となっていた担当授業科目を含む全てにおいて「可」の判定を受けており、授業の実施に支障はない。</p> <p>学生に対しては、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p> <p>(4)</p> <p>・ 令和5年4月に退職した植田和男教授について、学部長は常務理事会の決定により荒井弘毅が後任しており、学部運営に支障はない。</p> <p>・ 植田和男教授が担当していた「マクロ経済学基礎Ⅰ」「マクロ経済学基礎Ⅱ」「3年ゼミナール」「4年ゼミナール」「卒業論文」については、認可時に同科目で「可」の判定を受けている南波浩史教授が担当し、「ビジネス入門」「リーダーシップ開発入門演習Ⅰ」「リーダーシップ開発入門演習Ⅱ」「リーダーシップ開発基礎演習」「リーダーシップ開発応用演習」については藤田雅夫兼任教授が担当しており、授業の実施に支障はない。なお、令和6年度4月から後任の専任教員（教授）採用予定として公募中であり、設置時の計画である専任教員数19人を維持するとともに、現在いる専任教員についても教育研究業績の充実を図り、適時昇任させることにより職位バランスにも留意していく。</p> <p>学生に対しては、シラバス及び期首のガイダンス時に周知している。</p> <p>・ なお、令和2年度、令和3年度、令和4年度に退職報告をした教員の科目については、全てAC教員審査を受審した後任の専任教員が着任し担当している。</p> <p>(5)</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
<p>認可時</p> <p>(令和元年)</p>	<p>1. 数学の基礎学力が不十分な学生に対する「数学補習プログラム」の実施に当たっては、経済学の学修に必要な数学の内容にするとともに、非常勤講師に委ねるだけでなく、当該学部の専任教員が責任を持って関わる運用体制とすること。</p>	<p>別紙参照</p> <p>遵守事項</p> <p>履行中</p>	<p>別紙参照</p>
<p>認可時</p> <p>(令和元年)</p>	<p>2. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>遵守事項</p> <p>履行中</p> <p>（1） 本学の通常の定年を超えて任用される教授は開設時（2020年度）4人、学年進行終了年度（2023年度）までで6人いる。これについては、「学校法人共立女子学園定年規程」第3条第1項並びに「学校法人共立女子学園嘱託職員規程」第5条第4項に基づき専任教員として任用されるものであり、本学部の学年進行終了年度（いわゆる完成年度）まで雇用されるものである。</p> <p>（2） 本学の通常の定年を超えて任用される教授は開設時（2020年度）4人、学年進行終了年度（2023年度）までで5人いる。これについては、「学校法人共立女子学園定年規程」第3条第1項並びに「学校法人共立女子学園嘱託職員規程」第5条第4項に基づき専任教員として任用されるものであり、本学部の学年進行終了年度（いわゆる完成年度）まで雇用されるものである。</p> <p>（3） 本学の通常の定年を超えて任用される教授は開設時（2020年度）4人、学年進行終了年度（2023年度）までで4人いる。これについては、「学校法人共立女子学園定年規程」第3条第1項並びに「学校法人共立女子学園嘱託職員規程」第5条第4項に基づき専任教員として任用されるものであり、本学部の学年進行終了年度（いわゆる完成年度）まで雇用されるものである。</p> <p>（4） 本学の通常の定年を超えて任用される教授は開設時（2020年度）4人、学年進行終了年度（2023年度）までで3人いる。これについては、「学校法人共立女子学園定年規程」第3条第1項並びに「学校法人共立女子学園嘱託職員規程」第5条第4項に基づき専任教員として任用されるものであり、本学部の学年進行終了年度（いわゆる完成年度）まで雇用されるものである。</p> <p>（5）</p>	<p>今後、開設時の教員組織の水準の維持及び特定の年齢層の偏りに留意し、定年を超えて任用する6人の退職後の後任は、教育上並びに学部の運営上支障のないよう計画的に補充する。</p> <p>（2） 今後、開設時の教員組織の水準の維持及び特定の年齢層の偏りに留意し、定年を超えて任用する5人の退職後の後任は、教育上並びに学部の運営上支障のないよう計画的に補充する。</p> <p>（3） 今後、開設時の教員組織の水準の維持及び特定の年齢層の偏りに留意し、定年を超えて任用する4人の退職後の後任は、教育上並びに学部の運営上支障のないよう計画的に補充する。</p> <p>（4） 今後、開設時の教員組織の水準の維持及び特定の年齢層の偏りに留意し、定年を超えて任用する3人の退職後の後任は、教育上並びに学部の運営上支障のないよう計画的に補充する。</p> <p>（5）</p>

設置計画履行状況 調査結果 (令和2年度)	該当なし				
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)	該当なし				
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)	該当なし				

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ビジネス学部 ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学教育推進機構に高等教育開発センターを設置し、センター長のもとに高等教育開発センター運営会議を設置し、運営している。

当該会議は、センター長、センター員、大学事務部長、教務課長、大学企画課長、教育学術推進課長、連携推進課長、大学各学部並びに短期大学から機構長が指名する教員、機構長が指名する職員若干名により構成されている。

また、ビジネス学部におけるFDは、高等教育開発センターでの検討を受けて、学部の委員が中心となり、学部内におけるFDの推進等を、学部長・学部長補佐・主任と連携を取りながら実施する。（規程添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

高等教育開発センター運営会議は、令和5年度は以下の通りの開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

(1) SD・FDの実施に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教員対象のFD・SD研修会
- ・ 主題設定型FD・SD研修会
- ・ 授業設計・実施支援
- ・ 授業見学会の実施
- ・ ルーブリックの活用支援
- ・ シラバスチェックの実施
- ・ 授業を振り返るリフレクションシートの作成とティーチングポートフォリオの作成

b 実施方法

- ・教員（非常勤講師含む）を対象とした研修会を実施し、授業内容や授業方法の改善に役立てる。
- ・その他、高等教育開発センター運営会議での検討を受けて、高等教育開発センターの支援に基づき、各学部長のもとで実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年4月23日に、新任教員対象のFD研修会（懇談会）を実施。12名の教員が参加。
- ・令和4年6月13日～25日に前期授業見学会を実施。報告書の提出者は172名。
- ・令和4年8月5日～9月21日に『「共立リーダーシップ」とは』をテーマにしたオンライン研修を実施。教員の事後アンケートの回答者は149名。
- ・令和4年8月22日～9月12日に前期授業リフレクションシートを実施。提出者は174名。
- ・令和4年9月20日に「アセスメントプランの活用について」の研修を実施（学部長、学部長補佐、学科主任、教務委員長、学部の自己点検・評価実施委員会委員対象）。教員の事後アンケートの回答者は36名。
- ・令和4年11月4日～26日に後期授業見学会を実施。報告書の提出者は116名。
- ・令和5年2月11日～3月5日に後期授業リフレクションシートを実施。提出者は171名。
- ・令和5年3月13日に「変化の担い手となる ～未来はあなた、そして私たちの手の中に～」をテーマに研修を実施。53名の教員が参加。
- ・令和5年3月16日～3月31日に「リーダーシップ教育の実施方法の支援について」のオンデマンド研修を

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会の実施後に事後アンケートを実施し、その結果を分析・共有することで、教育改善の一助とした。
- ・ルーブリックの活用支援について、ウェブサイトにもルーブリック活用事例・ルーブリックの雛形を提示し、ルーブリック作成の一助とした。
- ・リフレクションシート作成後は作成結果（内容）を分析し、授業改善につながる取り組み事例について共有した。
- ・授業見学会では他教員の授業から得た気づきや授業改善のヒントについて報告書として提出した（専任教員は必須）。報告書の集計と分析を行い、各授業担当者にフィードバックを行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前後期に各1回、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケート結果については、各授業担当者に開示し、授業担当者は結果に基づいて所感を作成、学生に公表している。
- ・アンケートの集計結果の全データを各学部長に提供している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

共立女子大学ビジネス学部は、多様な人材を求める社会ニーズの高まりと、更なる女性の社会進出と活躍の場の拡大はもとより、企業等でリーダー層として働く女性の増加を強く求めるようになった社会の要請に対応し、我が国の持続的成長に貢献することを目的として設置したものであり、「ビジネスの場で活用できる知識・技能と必要な教養を身に付け、他者と協働してリーダーシップを発揮できる人材を養成する。」ことを目的としている。

具体的には、現代社会の諸変化に対応し力強く邁進する企業、公的部門、NPO法人等、ビジネスを大きく包摂するフィールドで活躍できる女性を輩出することであり、ビジネスの現場で、自分らしくリーダーシップを発揮し、将来、リーダー層に成長していく女性の育成を特色としている。

開設4年度目においては、全学で共通に実施している教養教育科目の充実と専任教員交代に伴う科目担当者の調整を行い、上記のような学部の理念・目的・特色の実現に向けて進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開 <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html>

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和6年度に評価機関（(公財)大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

共立女子大学・共立女子短期大学高等教育開発センター規程

目次

- 第1条 (目的)
- 第2条 (業務)
- 第3条 (センター長)
- 第4条 (センター員)
- 第5条 (高等教育開発センター運営会議)
- 第6条 (事務)
- 第7条 (改廃)

(目的)

第1条 共立女子大学・共立女子短期大学全学教育推進機構（以下「機構」という）に、大学院、大学、短期大学における教育及び学修支援に係る質的向上を推進し、教育の質を保証・向上するために必要な業務を実施ならびに研究・開発することを目的とする高等教育開発センター（以下「センター」という）を置く。

(業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するために、次の業務を行う。

- (1) SD・FDの実施に関すること
- (2) 授業支援の実施に関すること
- (3) 学修支援の実施に関すること
- (4) 成績評価に関すること
- (5) 教材活用に関すること
- (6) ICT活用に関すること
- (7) その他機構が必要と認めた業務

(センター長)

第3条 センターにセンター長を置く。センター長はセンターの業務を統括する。

2 センター長は、学長が機構長と協議の上、候補者を理事長に推薦し、常務理事会の議を経て理事長が任命する。

3 センター長の任期は、学長の在任期間とする。ただし、学長が辞任した場合又は欠けた場合は、後任の学長が就任する日の前日までとする。

(センター員)

第4条 センターにセンター員を置く。

(高等教育開発センター運営会議)

第5条 センターの円滑な運営を図るため、センター長の下に高等教育開発センター運営会議を置く。（以下、「運営会議」という。）

2 運営会議は、次の者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センター員
- (3) 大学事務部長
- (4) 教務課長
- (5) 大学企画課長
- (6) 教育学術推進課長
- (7) 連携推進課長
- (8) 機構長が指名する教員および職員 若干名

3 任期は職制による者以外は1年とする。ただし、再任を妨げない。任期中に退任した場合の後任者の任期はその残任期間とする。

(事務)

第6条 センターに関する事務は、教育学術推進課が行う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、全学教育推進機構運営会議を経て常務理事会の承認を得るものとする。

付則

この規程は、2022（令和4）年4月1日より施行する。

附則

この規程は、2023（令和5）年4月25日から施行し、2023（令和5）年4月1日から適用する。